



開け！科学の扉⑧

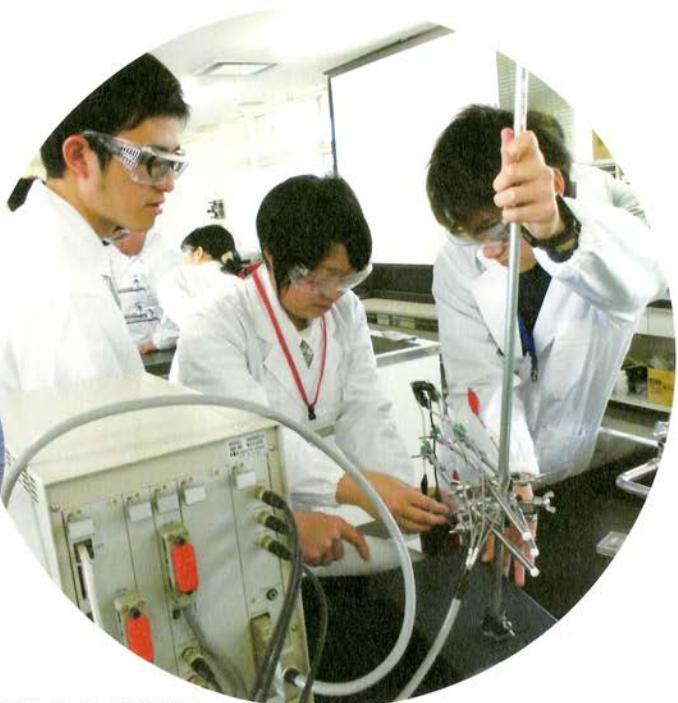


科学を もっとおもしろく

特別
企画

かこさとしさんのセツルメント活動に見る科学普及の原点

「子どもに教わったことは、
ぼくの宝物です」



■藤沢市科学少年団

■清瀬市立清瀬第三小学校校長 大谷憲司

■山口大学教授 鬼村謙二郎

藤嶋 昭／監修

公益財団法人 東京応化科学技術振興財団(編集委員長 岩科季治)／編

Gakken

▶ゲストティーチャーによる指導のメリット

ひとつは、子どもたちが専門的な内容の指導を受けられることです。教員だけでは指導しきれない幅広いジャンルの指導を、専門的に行っていただけることが最大のメリットです。指導後の子どもたちからは、さまざまな肯定的な反応が聞かれます。

また、教員が専門的な指導から指導法を学べることも大きなメリットです。例えば、2020年から小学校で必修となるプログラミングは、導入のきっかけがつかめない学校も多く、現場の教員からはとまどいの声も多く聞かれます。しかし、清瀬第三小学校では、プログラミングに詳しい保護者やゲストティーチャーが、サタデーサークルやサマースクールといった教育課程外の活動にすすんで関わってくださいり、その指導法を基に、教育課程内のプログラミング授業に反映させることができます。

その他にも、地域の自然保護団体である「清瀬の自然を守る会」の方から雑木林の自然観察や自然を活用した遊びなどの指導をしていただくことで、教員の指導法の幅も広がり、地域の自然を活用した教科の指導を実践できるようになってきました。こうした専門家の方々の指導を間近で見られることは教員の資質・能力の向上にも大きく貢献するものになっています。



▶ゲストティーチャーの招聘方法

清瀬第三小学校はPTAの活動が大変盛んで、PTA会長を中心、幅広い人材ネットワークがあります。また、清瀬市内初となる「学校支援本部」が設置されており、学校支援本部経由でも地域の方々や外部関係者と連携を取り、多くのゲストティーチャーを招聘することができます。

また、ゲストティーチャーの方がご自身のお知り合いの方に声をかけてくださいり、その方が新たにゲストティーチャーとして指導してくださる、という展開も増えています。そうした人と人がつながるネットワークのなかで、自然とゲストティーチャーが増えていっています。